



七宝折扇桐紋蒔絵婚礼道具のうち貝桶
江戸時代後期(19世紀)
一般財団法人松井文庫所蔵

旧八代城主松井家に伝来した華麗なる婚礼道具を一挙公開!

平成26年度冬季特別展覧会

お姫さまの婚礼道具

■観覧料／一般400円(320円)、高大生300円(240円)、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

■開館時間/9時～17時(入館は16時30分まで) ■休館日/毎週月曜日

■特別講演会「松井章之と琴の結婚」講師/林千寿(当館学芸員)

日時 平成27年2月14日(土)14時～15時30分(開場13時30分) 会場 八代市立博物館講義室

聴講無料 事前申込み不要 先着80名まで ※満席の場合、入場をお断りする場合があります。時間に余裕をもってお越しください。

■主催/八代市立博物館未来の森ミュージアム、八代市 ■協賛/八代市立博物館友の会

平成27年2月6日(金)～3月22日(日)

八代市立博物館未来の森ミュージアム



しっぽうおくりぐずしりもりんまきえこんれいどうぐ
七宝折崩桐紋蒔絵婚礼道具のうち 十二手箱
江戸時代後期(19世紀)



こきんびな
古今雛 江戸時代後期(19世紀)



こすみあかてぼ
小角赤手箱
江戸時代後期(19世紀)



たけうめこいもんはこせこ
竹梅鯉文筥迫 江戸時代後期(19世紀)

江戸時代、大名家など上級武家の姫君がお嫁入りするときは、その家格にふさわしい婚礼道具が調えられました。婚礼の儀式に不可欠な貝桶をはじめ、化粧道具や文房具、香道具など、姫君の生活に必要なさまざまな品がそろえられ、大名家ともなると金銀蒔絵をほどこしたものが準備されました。

旧八代城主松井家には、多くの婚礼道具が伝来しています。いずれも蒔絵をほどこした豪華なもので、松井家の家格の高さをうかがうことができます。今回の展覧会では、松井家伝来の婚礼道具に夫人たちゆかりの品々を加えた85点を展示します。
※写真の作品はいずれも一般財団法人松井文庫所蔵



ていかんいん みつゆき
貞観院(松井盈之夫人)画像 近代(19世紀)



みつぎさもんからくさまきえこんれいどうぐ
三ツ笹紋唐草蒔絵婚礼道具のうち 化粧道具 江戸時代後期(19世紀)

【交通のご案内】

- JR** 鹿兒島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」「北荒神町福祉センター前」「八代市役所前」いずれかのバス停下車
- 車** 八代ICから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すく ※大型バス4台、普通車40台駐車可



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555-FAX0965-33-9200
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>